

一般職業紹介状況(平成24年10月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.02ポイント上昇の0.83倍で、2か月ぶりに前月を上回った。

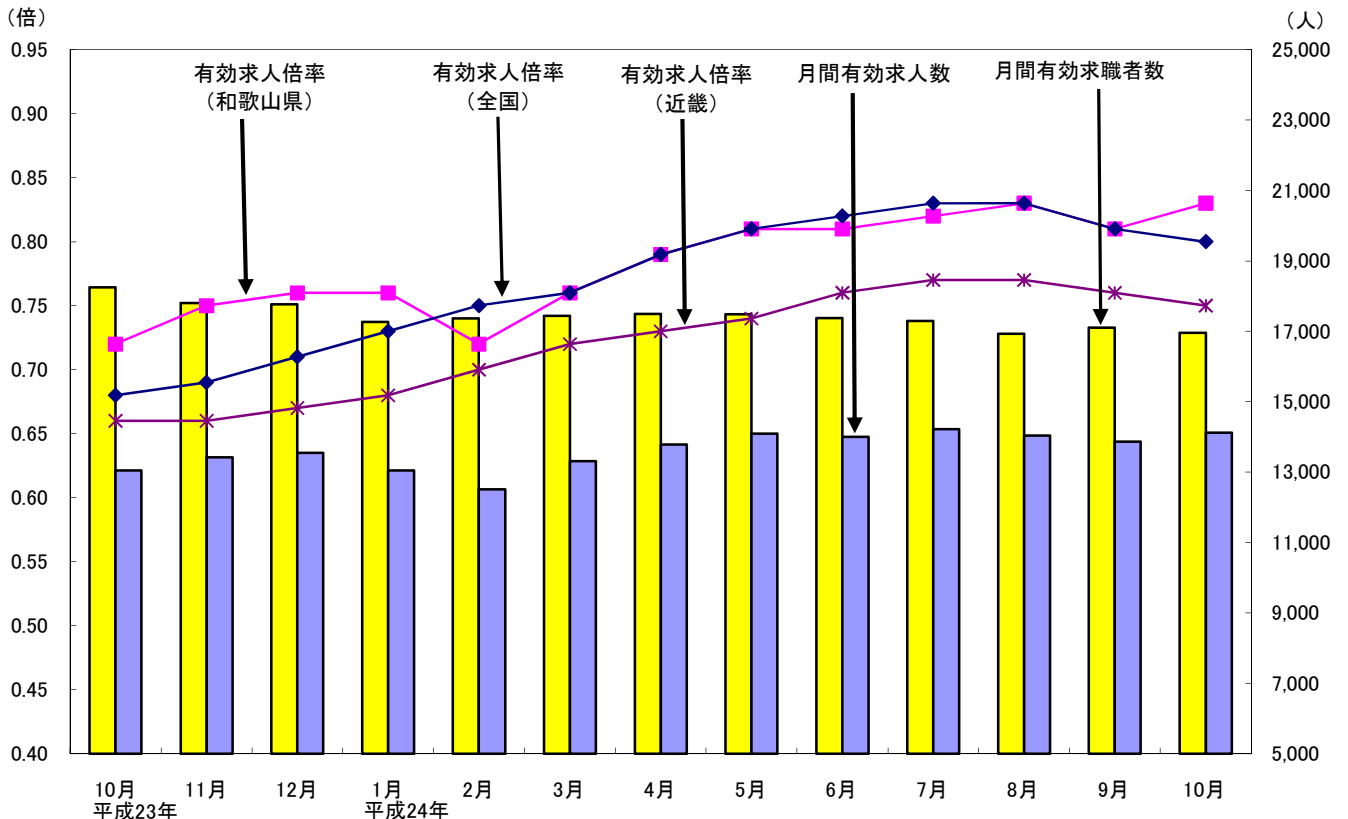
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍で、前月より0.01ポイント低下。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.75倍で、前月より0.01ポイント低下。

新規求人倍率(季節調整値)は1.42倍で、前月より0.23ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比15.9%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比1.2%増。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.23ポイント上昇の1.42倍で、3か月ぶりに前月を上回った。

全国の新規求人倍率(季節調整値)は1.29倍で、前月より0.05ポイント上昇。

近畿の新規求人倍率(季節調整値)は1.23倍で、前月より0.04ポイント上昇。

有効求人倍率(季節調整値)は0.83倍となり、前月を0.02ポイント上回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.04ポイント上昇の0.43倍で、28か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数(原数値)は6,512人で、前年同月比15.9%増(4か月連続増)となった。

有効求人数(原数値)は15,106人で、前年同月比10.4%増(7か月連続増)となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、

「建設業」(138人増)、「サービス業」(125人増)、「卸売業、小売業」(122人増)、「医療、福祉」(94人増)、「複合サービス事業」(88人増)などで増加し、「運輸業、郵便業」(54人減)、「公務・その他」(17人減)は減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は3,303人で前年同月比17.5%増、パート求人数は3,209人で前年同月比14.2%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数(原数値)は4,438人で、前年同月比1.2%増(14か月ぶり増)となった。

有効求職者数(原数値)は17,332人で、前年同月比5.6%減(19か月連続減)となった。

(2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は905人で前年同月比24.5%増(2か月連続増)、離職者は2,839人で同4.0%増(5か月ぶり増)となり、離職者のうち事業主都合離職は724人で同3.6%増(6か月ぶり増)、自己都合離職は1,938人で同4.9%増(5か月ぶり増)、また、無業者は604人で同26.7%減(11か月連続減)となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は4,570人で、前年同月比2.5%減(3か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,836人で、前年同月比1.3%増(2か月連続増)となった。

5 まとめ

原数値でみると、前年に比べ、新規求職者は14か月ぶりに増加となったが微増であり、有効求職者は19か月連続で減少している。また、求人の動向をみると、新規、有効とも連続して増加していることから、有効求人倍率(季節調整値)は2か月ぶりに前月を上回った。雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。